

2026 年 10 月 5 日

「CEATEC 2026」Honda 出展概要 ～未来社会の実現に向けた取り組みを展示～

Honda の研究開発子会社である株式会社本田技術研究所（以下、Honda）は、2026 年 10 月 13 日（火）から 16 日（金）まで、千葉県の幕張メッセにて開催される「CEATEC 2026（シーテック 2026）」（主催：一般社団法人 電子情報技術産業協会）に出展します。



Honda ブースイメージ

CEATEC は、毎年 10 月に開催されている国内最大級のデジタルイノベーション総合展で、2026 年は開催テーマに「Transformation - 企業が、産業が、そして社会が変わる -」を掲げ、優れた技術や構想を披露する場にとどまらず、変革の価値を高め、社会実装を加速させる舞台として開催されます。

Honda ブースでは、「Honda Innovation Lab - Missing Piece」をコンセプトに、人と技術がつながり、能力を拡張させる未来社会の実現に向けた取り組みを紹介します。

Honda が描く未来の実現に必要な“Missing Piece”を、多様なパートナーや次世代を担う若い世代と共に探求し、共創する場を提案します。会場では、交通事故死者ゼロを目指す取り組みとして、Honda 独自の協調人工知能「Honda CI※1」（以下、CI）」とスマートフォンを組み合わせた「CI 運転支援スマホアプリ」や、人の可能性を時間・空間・身体の制約から解放する「Honda アバターロボット」の実演を通じて、安全で自由な移動の実現と、人の能力拡張を支える技術がもたらす、新たな価値創造や共創の可能性を提案します。

また、同期間に幕張メッセ展示ホール 2・3 にて併催される「Japan Mobility Show Bizweek 2026（ジャパンモビリティショービズウィーク 2026）」にも本田技研工業株式会社として出展します。

【Honda ブース出展内容】

■CI 運転支援スマホアプリ

交通事故死者ゼロの実現に向けた安全技術の進化として、「CI 運転支援スマホアプリ」を展示します。本技術は、スマートフォンと車両への後付けカメラを活用し、周囲の交通参加者を検出するとともに、CI が将来の危険を予測・判断する運転支援技術です。危険の方向やレベルに応じて光や音でドライバーやライダーに通知し、事故の未然防止を支援します。新車だけでなく既販車や二輪車への適用も視野に入れ、交通社会全体の安全向上に貢献する技術として開発を進めています。

会場では、CI 運転支援スマホアプリによるリスク予測や警報の仕組みを体感できる実演展示を行い、将来の安全技術がもたらす提供価値を来場者に紹介します。

■Honda アバターロボット（多指ハンド※²と AI サポートシステムによる遠隔作業支援）

遠隔地にいながら自身の分身として活動できるロボティクス技術「Honda アバターロボット」を展示します。人と同等の器用さ・力強さを備えた多指ハンドと、操作者を支援する AI サポートシステムの組み合わせにより、人がその場へ行くことなく高度な作業を実現することを目指しています。医療、設備保守、災害対応、宇宙開発などへの応用を通じて、人の可能性を時間・空間・身体の制約から解放し、能力拡張と時間価値の最大化に貢献します。

会場では、AI サポートシステムによる動作支援を交えた多指ハンドの作業を実演し、人とロボットが協調する未来の可能性を紹介します。

【CEATEC 2026 開催概要】

名 称：CEATEC 2026

会 期：2026 年 10 月 13 日（火）～10 月 16 日（金）

開 場 時 間：10:00～17:00

会 場：幕張メッセ 国際展示場 展示ホール 4～8

住 所：千葉県千葉市美浜区中瀬 2 丁目 1

入 場：無料（全来場者登録入場制）※入場にはオンラインでの事前登録が必要です

主 催：一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）

共 催：一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）、
一般社団法人 ソフトウェア協会（SAJ）

公式サイト：<https://www.ceatec.com/ja/>

※1 Cooperative Intelligence：振る舞いや言葉を通じてコミュニケーションを図り、ユーザー・周囲の人と協調しながらユーザーを支える Honda 独自の人工知能

※2 人と同じようにものを扱えるロボットハンド。さまざまなものを把持でき、人のために作られた道具を操ることができます。人が行っている多様な作業を 1 つのハンドで実現し、人が生活する環境にあわせて働くことで、人に寄り添い、人の役に立つ社会の実現を目指します。